



和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：0725（41）1551

和泉市議会ホームページアドレス：<http://gikai02.kaigiroku.jp/izumi/index.html> E-mail：gikai@city.izumi.osaka.jp

新たな建物群が発掘された「史跡池上曾根遺跡」での現地説明会



平成16年第4回定例会を開催

和泉市都市公園条例を一部改正

平成16年第4回定例会が、12月6日から12月17日の12日間の会期で開催されました。

今定例会では、「和泉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について」など、議案19件、報告3件、諮問1件、意見書3件等が可決等されたほか、第3回定例会で上程され閉会中の継続審査となっていた平成15年度各会計決算についても、それぞれ認定されました。また、10人の議員から一般質問が行われました。

そのほか、市民より請願2件が提出されましたが、審査の結果、賛成少数で不採択となりました。

平成15年度決算を認定

歳出総額 1,021億5,822万2千円

第3回定例会で上程され継続審査となっていた平成15年度各会計決算は、閉会中の11月8日から5日間にわたり決算審査特別委員会が開催され、慎重な審査が行われました。

12月6日の本会議では、委員長より審査の結果が報告され、和泉市一般会計及び特別会計決算の一部については、反対意見があり起立採決の結果、賛成多数で認定され、また水道事業会計及び病院事業会計については全会一致で認定されました。

一般会計決算

●反対討論●

平成15年度一般会計決算は、これまで要望してきた乳幼児医療費助成の年齢1歳引き上げや、学校職員室へのエアコン設置などが実施されたものの第3子以降出産祝い金の廃止や公立保育園の民営化が進められた。

人権啓発研修事業では、引き続きNPO法人ダッシュに委託料として約6、100万円支出している。同和事業促進和泉地区協議会助成金は廃止されたが、新たに和泉市人権協会に対する助成が行われている。その中の自治会別人権研修では「人推協」に対する研修も含めたうえ、京都で行われたが一日の行程のうち、わずか30分間であった。

また、幸・王子地区には有線放送施設があるが、移設工事費を市費で賄い、維持管理においても市が行っている。

国際交流協会補助金については、約2、685万円の積立金がある。

以上、問題を含んでいる部分があるので本決算に反対する。

●賛成討論●

市税や地方交付税が減少する厳しい状況の中、人件費の抑制や経常経費の節減に努め、様々な政策が進められた。

公園、道路、公共下水道などの生活基盤の整備を図るとともに、安全なまちづくりを目指し、防犯啓発活動も展開されている。生活環境づくりについては、資源循環型のまちづくりを目指し、ごみの減量化やリサイクルを推進。さらに、少子・高齢化社会への対応としてファミリーサポートセンター事業や、デイハウスへの運営補助等、広範囲にわたって生涯福祉環境づくりを実施している。雇用の充実にも努め、生涯学習づくり等、市政全般にわたり、ソフト・ハード両面にわたり、積極的に取り組まれている。このように多様な施策が市民と市の協働で進められ、成果を上げていることを評価する。

今後、行財政運営の更なる財政体質の改善・強化を図り、より簡素で効率的な施策展開を通じ、魅力あるまちづくりを推進していただくよう望む。

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●平成15年度和泉市一般会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成15年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成15年度和泉市老人保健事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成15年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全会一致)
●平成15年度和泉市公共下水道事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全会一致)
●平成15年度和泉市市街地再開発事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全会一致)
●平成15年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成15年度和泉市水道事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全会一致)
●平成15年度和泉市病院事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (全会一致)
●工事請負契約締結について(仮称)東部小学校新設工事	総務文教常任委員会	可決 (全会一致)
●和泉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	産業建設常任委員会	可決 (全会一致)
●和泉市下水道条例の一部を改正する条例制定について	産業建設常任委員会	可決 (賛成多数)
●平成16年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	民生企業常任委員会	可決 (全会一致)
●子どもの権利と発達を保障するため児童保育・子育て支援の拡充を求める請願	総務文教常任委員会	不採択
●子どもの権利と発達を保障するため保育・子育て支援の拡充を求める請願	民生企業常任委員会	不採択
その他、報告3件、議案15件、諮問1件、監査報告9件、意見書3件が可決・推薦等されました。		

(3)

和泉市議会だより

- 再資源化事業推進奨励金
- 予算の流用について
- エンゼルハウスの現況と事務内容
- 市民健康診査とがん検診について
- 市民農園の開設と増設に向けての取り組み
- 観光インストラクター等活用事業委託料
- 平成15年度の各種団体に対する補助金等の金額
- 就労支援事業についての施策展開と取り組み
- ものづくり産業活性化事業の委託先と内容
- 街路樹剪定委託料について
- 常備消防力の現在の到達点について
- 小中学校における耐震診断の棟数と今後の診断予定について
- 学校警備の内容と今後の考え方について
- 平成15年度の市税の徴収率について
- 阪南ブロック各市の1人当たりの国民健康保険料について
- 平成15年度の老人保健の状況について
- 水道工事関係の入札方法について
- 公共下水道整備の進捗状況について

決算審査特別委員会での質問

ここでは紙面の都合上、質問項目の一部を掲載しています。

- コミュニティバス利用状況
- コミュニティバス負担金について
- 自動車借り上げ料
- 南海バス路線維持費補助金の考え方
- 和泉市交通安全教育推進協議会の目的とメンバー構成
- 補助金の出し方及びチェック体制
- 人権啓発推進事業委託料について
- ISO再度認定までの経過
- 社会福祉協議会の補助金の内容
- ペットボトル集団回収奨励金の内容
- 粗大ごみの電話申し込みの導入について

平成15年度会計別決算状況

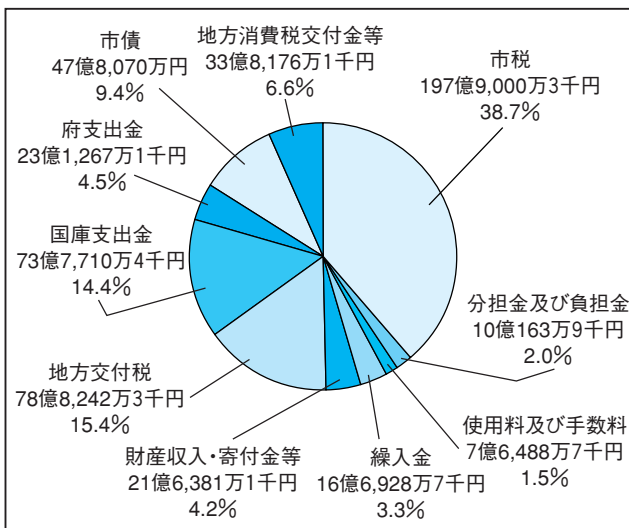
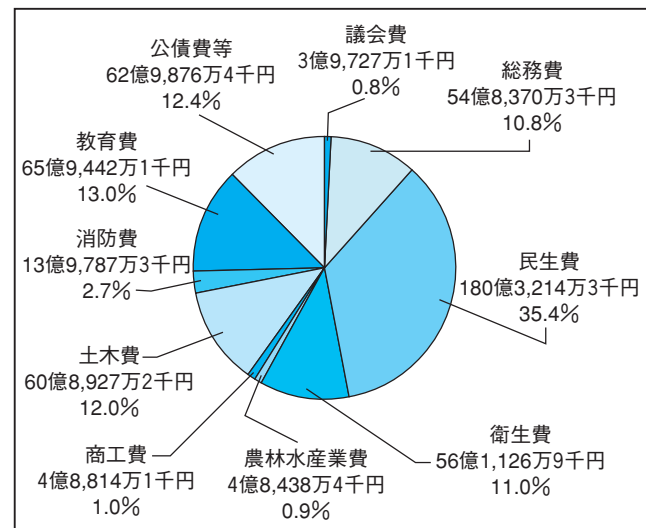
区 分	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(C) =(A-B)	翌年度へ繰越すべき財源(D)	実質収支額 (C-D)
一 般 会 計	511億2,428万7千円	508億7,724万1千円	2億4,704万6千円	2,508万1千円	2億2,196万5千円
特 別 会 計					
国民健康保険事業	130億6,025万6千円	130億5,415万3千円	610万3千円	0円	610万3千円
老人保健事業	113億4,615万円	113億6,010万5千円	△1,395万5千円	0円	△1,395万5千円
公共用地先行取得事業	5億6,503万6千円	5億6,503万6千円	0円	0円	0円
公共下水道事業	47億8,521万6千円	47億6,079万1千円	2,442万5千円	2,442万5千円	0円
市街地再開発事業	10億3,155万2千円	10億2,205万2千円	950万円	950万円	0円
介護保険事業	68億4,999万3千円	69億954万円	△5,954万7千円	0円	△5,954万7千円
小 計	376億3,820万3千円	376億7,167万7千円	△3,347万4千円	3,392万5千円	△6,739万9千円
合 計	887億6,249万円	885億4,891万8千円	2億1,357万2千円	5,900万6千円	1億5,456万6千円

平成15年度企業会計決算状況（消費税を含む）

(△はマイナス)

	事業収益	事業支出	差引額
水道事業会計	39億9,636万4千円	44億7,002万3千円	△4億7,365万9千円
病院事業会計	91億4,712万円	91億3,928万1千円	783万9千円

(△はマイナス)

一般会計決算の歳入内訳
総額511億2,428万7千円（100%）一般会計決算の歳出内訳
総額508億7,724万1千円（100%）

常任委員会 審査報告

第4回定例会で上程された議案は各所管委員会に付託され審査が行われました。ここでは紙面の都合上、それぞれの委員会での質疑の一部を要約して掲載しています。

総務文教委員会

工事請負契約締結について
(仮称) 東部小学校新設工事

【委員】 建築金額が10億円を超える場合、一般競争入札と聞いているが、何社が入札に参加されたのか。

また、設計金額、最低制限価格、落札率について伺いたい。

【理事者】 入札に参加した業者は9社である。税抜きになるが、設計金額は約20億円、最低制限価格は約17億円、落札価格は約18億4,000万円、設計金額に対する落札率は約92%である。

【委員】 はつが野地域の宅地分譲における児童数の増加に伴い、東部小学校が新設

されるわけであるが、将来の児童推移について伺いたい。また、将来の児童数増加にも対応できるような計画になっているのか。

【理事者】 児童の推移としては、平成21年度で約690人21学級に達するものと考えている。

また、将来の児童数増加に伴い増築を予定しており、9教室において対応できるものと考えている。

【委員】 児童推移については、予測困難であるが、将来、教室が不足するような状況にならないよう、関係機関、開発サイドで十分に協議していただくよう要望する。

産業建設委員会

和泉市下水道条例の一部を改正する条例制定について

【委員】 下水道使用料金は平成9年から今回で2回目の値上げになるが、この8年で2倍近くも上がっている。このような値上げになった理由は何か。

【理事者】 下水道使用料の改

定計画は2～4年程度の計画において算定される。本市の場合出来るだけ長い期間として4年周期で行い、その期間内で公共下水道の経営状況を見極めながら改定を行った結果、平成2年度から15年間で2倍となったものである。

【委員】 使用料金の値上げについて、市民への説明責任が不十分ではないのか。市民に理解を得るための努力はどのようにされているのか。

【理事者】 年間50回程度の説明会などを催し、水洗化促進・使用料に関する啓発等を行った。また、駅前啓発、交通安全市民の集いでも啓発を行った。

【委員】 下水道会計の現状は、毎年一般会計から繰入れとなっており、その結果、建設費に大きな影響を及ぼすことになる。市民感情的には忍びないが値上げはやむを得ない部分もある。そこで、今後の計画区域外における整備促進の取組みについて伺いたい。

【理事者】 計画区域外の生活排水対策については、農業集落排水等合併浄化槽での方向性を考えている。

民生企業委員会

子どもの権利と発達を保障するため保育・子育て支援の拡充を求める請願

【理事者】 本請願は、少子化に歯止めをかけるため、保育園の民営化を優先せず和泉市独自の子育て支援を拡充してほしいというものが、本市の保育所数や保育サービスは大阪府下でも高い水準にある。しかし、近年保育サービスが多様多様化し充実が求められており、今後も精査して参りたいと考える。

【委員】 公立園と民間園の運営経費をそれぞれ聞きたい。

【理事者】 平成15年度決算額で、年額1人あたりの運営費は、公立園で177万3千円、民間園で97万1千円となっている。

【委員】 「クラス配置基準は正補助金」「研究指定園事業」「家庭支援推進保育所事業」これらの事業の目的と実施園についてお答えいただきたい。

【理事者】 クラス配置基準は正補助金は、保育所の民営化により保育所の移管を受けた社会福祉法人に対し、移管後3年間市の職員配置基準を遵

守するため、国の最低基準を超え配置した保育士に係る賃金を補助することで入所児童の処遇の安定を図ることを目的としており、実施園については平成16年に移管された保育園のみである。

研究指定園事業については、子育て支援の充実を図るため研究園を指定し保育内容の研究と教材開発に努めることを目的とし、平成16年度の実施園はない。

家庭支援推進保育所事業は家庭環境を配慮した、保育の実施を行うと共に、地域に向いて支援を行う手法により保育所機能の地域展開を図ることを目的としており、実施園については、公立園はあさひ保育園、くすのき保育園。民間園は、幸保育園で地域子育て支援センターと併設し行われている。

【委員】 職員配置について、民間保育園においても公立保育園と同じように、市配置基準に照らし、一律にする考えはないのか。

【理事者】 実態に即した補助内容となるよう鋭意努力して参りたい。

一般質問



今定例会では10人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。
 「」では紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

安心・安全のまちづくりについて

【議員】和泉市の防災と防犯について伺いたい。和泉市は地域防災無線（同報固定系）が整備されていない。その理由は何故なのか、また移動系無線にしても、車載型拡

声器とセットと考えるが市の考え方は。防犯については、地域防犯診断を実施していく意向はあるのか。本庁においての夜間の防犯体制はどうなっているのか伺いたい。
 最後に、防犯関係の条例制定の考え方を伺いたい。

【理事者】同報固定系の無線に関しては、消防吹鳴サイレンを共有していく方向で、整備も含め消防と協議を進めている。移動系無線の車載型拡声器とセットの考えは、今後前向きに検討してまいりたい。地域防犯診断については、防犯協議会等を通じ、啓発活動をすすめてまいりたい。本庁の夜間警備は、現在3人体制で行っているが、提案のあったセンサー式のチャイムの設置については、人的警備を補

就学援助と生活保護

【議員】就学援助の最近の実績と、医療費制度改善の国の動向を聞きたい。また生活保護についても実績と、老齢・母子加算など、国の改悪状況と影響額を聞きたい。

【理事者】就学援助の実績は、平成13年度2、427人、14年度2、733人、15年度3、238人、16年11月現在3、395人。医療費制度では、16年4月虫歯の治療方法の全てが対象となった。今後、アレルギー疾

患についても、さらに要望していきたい。生活保護の実績は、平成13年度2、618人（14・81パーミル）14年度2、880人（16・15パーミル）15年度3、076人（17・07パーミル）16年9月末現在3、132人（17・31パーミル）。老齢加算の段階的廃止の影響額は、12月1日現在の対象者で積算すると、年間7、531万8千円の減額となる。母子加算については、見直し議論中で、「自立」や「就労」支援に当てる方針がある。

【議員】数年間で受給者が急増している。「財政健全化」の名の下に切り捨てる、冷たい市政とならぬよう要望する。
 （※ケーパーミルは千分の一）

槇尾川ダムについて

【議員】100年対応のダム＋河川整備費は866億円だが当面の50mm対応河川整備＋ダムの事業費はいくらか。当面対応で100年確率の雨が降ったら洪水は発生するか。発生するとしたらどれぐらいの浸水面積か。ダムが無かったらどうなるか。

【理事者】再評価委員会の議論に関する事なので、直接府に確認して欲しい。

【議員】過去4年間細かな数字も答弁があった。今回何故最初から門前払いをするのか。

か。質問を大阪府に問い合わせたか。

【理事者】当市で判断した。議員は再評価委員会で意見陳述もされ、府からも回答が出ている。審議中なので直接確認いただく方が適切と考える。

【議員】何故従来通りの対応ができないのか。特段の変化があったのか。

【理事者】再評価の結論を待つて、府に問い合わせる以外論法的にまともなないと考える。

【議員】市内に出来るダムの事を和泉の議会でも何故聞いてはいけないのか納得できない。

定例会の詳しい内容は会議録で

市議会では、定例会毎に「会議録」を作成しています。

市議会事務局、市政情報コーナー及び市立図書館で自由に閲覧でき、議会ホームページでもご覧いただけます。なお、12月定例会の会議録は2月下旬に完成の予定です。



うと言う意味で、一定効果もあると思われるので検討して参りたい。条例制定については、第4次総合計画の中で調査・研究を行って参りたい。

一般質問



メディアと子どもの問題について

【議員】メディアが発達し多様化する中、子どもとメディアの接触時間が激増し子どもの生活内容の変化や心身の発達に大きく影響を与えている。①足の発達の低下。②視力、立体視力の低下。③高度な精神活動をつかさどる大脳、特に前頭葉が劣化していく危険性がある。④コミュニケーションの減少から言葉遅れが目立ってきている。⑤現実、非現実の感覚がいまいになつてきている。この様な状況の中、メディアを活用し、批判的な見方も含めて読み解く力「メディアリテラシー教育」が急務であると考える。小児科学会では特に

2才未満の子どものテレビ長時間視聴はきわめて危険であると言っている。そこで特に接点の多い教育委員会、健康福祉部の取組みの考え方を伺いたい。

ホームヘルパーの労働実態について

【議員】介護保険の導入は、介護の社会化をもたらし、女性の労働の場を拡大した。しかし、介護の現場での雇用形態は様々で、不安定な条件下で働く非定期的パートタイムヘルパーがそのほとんどを占めている。和泉市における訪問介護労働者の実態を把握するためにこれまで行ってきたことは何か。

JR阪和線北信太駅前再整備と駅西側改札口設置について

【議員】北信太駅前は、約40年前から都市計画決定されながら、未だに事業化されず、付近住民、乗降客が大変迷惑している。11月に発表された財政健全化の中での考え方はどうなっているのか。また駅西改札口設置

指導については、直接的には労働基準監督署等で行うものだと考えているが、厚生労働省よりの通知を市内全訪問介護事業所に発送し、周知に努めたところである。

【議員】調査の内容、結果、分析等について伺いたい。

【理事者】雇用保険や労働時間等、事業所により格差があった。

【議員】今後市としてできることは何か。

【理事者】アンケート調査の検討及び、事業者連絡協議会を通じ、資質の向上を図るとともに労働政策課とも調整を行っていく。

財政健全化計画について

は、10月に完成した葛の葉町東土地区画整理事業により、分譲住宅が早くも建ち並び、大幅な人口増で、ますます南二番踏み切りの危険性が予想されるが、JRへの働きは続いてやっているのか。

【理事者】駅前広場、駅前線については、第4次総合計画に位置づけを行い、現地の駅前が抱えている状況は十分に認識しており、実施時期がき

【議員】「財政健全化計画」は平成17年から21年までの5年間で、72億円余の見直しを進めようとするものだが、建設事業費の10%カットは入札制度の改善も含めて進めるのか。また、保育料金や幼稚園使用料、粗大ゴミの有料化等々、ほとんどが17年度からの見直しだが、期間の問題もあり、もっと慎重な対応をすべきではないか。

【理事者】入札制度は担当課と協議の上、研究していき

たら出来るだけ速やかに事業認可が取得出来るよう、事業手法や整備方法の検討など、関係機関と協議していく。駅西改札口については、JRは収益性を云々するが、今後共、地域の動向を見ながら、続いて要望していく。

【議員】財政状況が悪化しているが、市の立場ばかり考えないで、困っている市民の立場を十分考えて欲しい。

い。「計画」は一刻も早い実現が必要だと考えている。

【議員】「計画」に指摘された事業だけでなく、全体を見直す内部努力がまだ足りない。市民への負担はその後だと思う。内部努力を進める決意はあるのか。

【理事者】今回の「健全化」メニュー以外にも、さらなる内部努力に努めたい。

【議員】全体の内部努力を強化すれば、無駄をばくくることが出来る。それを実行してから、市民への負担増の理解を得るのがスジであり、17年度実施については慎重な対応が必要である。

学校施設の改善について

【議員】15年度より校舎や体育館の耐震1次診断を行っているが、診断結果及び改修計画はどうなっているのか。

【理事者】IS値（構造耐震指標）が0・9以上の建物が適格建物と判断されるが、現在まで

市の防犯力の強化について

【議員】一部公用車に『安全パトロール』と描いたステッカーを貼り市民への啓発と犯罪の未然防止に努めているが更なる抑止力強化の為まだ貼っていない公用車にも貼れないのか。さらに、16年12月より申請が受付られる青色回転灯の取り付けにおいて市のホームページに犯罪情報を速やかにのせて関係者に伝えているが本市の考えはどうか。

の診断結果では大半が数値を下回っている。次に改修計画だが、1次診断結果によっては2次診断を行い、補助採択を受け補強する大規模改造工事や、壁1枚補強するといった小規模な工事

で、1次診断での耐震性が確保される場合もある。16年度体育館2棟の補強工事を行いたい。補助要件との関係では400万円未満の工事の場合、市単独事業として実施することになる。

【理事者】より多くの公用車に貼るように推進する。また

余分なステッカーは小学校にも配布して巡回時に活用し犯罪防止に役立てたい。青色回転灯をつけパトロールすることで犯罪がより未然に防止できる効果が期待できるので市内の調整と関係機関との協議を検討する。ホームページへの不審者・犯罪情報の提供については、登載に向け取り組んでいきたい。

【議員】市民の皆様による自主的な防犯活動も非常に高まっており、市行政としてもできうる限りの施策を待ったなしに講じ、市の防犯力の強化を強く要望する。

【議員】大規模改修工事は市

単費として実施してきた経過がある。国の補助要件として耐震補強が前提条件となっているが、今後の考え方についてお聞きする。

【理事者】大規模改造工事と耐震補強工事は、今後連動していく。現時点では一事業として耐震補強工事も含め予算確保に努め、教育環境の整備を図っていきたい。

意見書

今定例会では次の意見書3件を可決し、内閣総理大臣や関係する各大臣等に送付しました。

- ◆よりよい介護保険制度実現のための意見書
- ◆高齢者虐待防止法の制定を求める意見書
- ◆大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書

第4次総合計画策定について

【議員】地方自治体のまちづくりは、10年単位で策定する総合計画によって進められている。18年度から取り組まれる第4次総合計画（以下総計）の基本的な考え方を問う。

【理事者】本市では、公民協働、政策・施策の優先性の確保、成果重視、効率的・効果的な成果の達成、という4つの柱を掲げて計画づくりを行っている。

【理事者】総計においては、事業の実施という観点ではなく、成果の達成という点に着目する計画づくりを目指してまいる。また現在運用している行政評価システムを活用して、事業がどの程度成果の達成に貢献しているかを判断してまいる。

【議員】計画実施段階における市民参画の取り組みについての考え方を問う。

【理事者】市民と行政の役割分担を明確にし、公民協働による地域社会システムをより具現化する必要があると認識しており、策定経過の中で十分議論を行い検討してまいる。

その他の質問項目

- 指定管理者制度について
- 読書環境の整備について
- 特別支援教育について
- 英語教育について
- 行政コスト計画書作成について
- 青少年センターについて
- 子どもの居場所づくりについて
- 道路維持管理について
- 市政50周年関連事業について
 - ・アーカイブズについて
- 危機管理について
 - ・子ども達の安全確保
 - ・震災対策について



1 ＊市議会

ホームページを開設

市議会の内容をより分かりやすく、早くお伝えするため、ホームページを開設し、情報の提供を行っています。

市議会の最新のデータから過去のデータまで掲載し、議会制度等も紹介しており定例会の流れなどを分かりやすく説明しています。

会議録の検索や市議会だよりの閲覧も可能です。ぜひご利用ください。

和泉市議会ホームページアドレス

<http://gikai02.kaigiroku.jp/izumi/index.html>

2 ＊ご意見ご感想を

お寄せ下さい

読みやすく親しみやすい「市議会だより」の紙面づくりのために、皆さまのご意見をはがきやFAX、E-mail等でお寄せ下さい。

〒594-8501

和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市役所 市議会事務局

電話：0725・41・1551（内線1722）

FAX：0725・43・4525

E-mail：gikai@city.izumi.osaka.jp

3 ＊研修会に参加しました

大阪府市議会議長会主催による第44回大阪府市議会議員研修会が、11月19日に開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

関西広域連携協議会事務局長の田中英俊氏を講師として、「地方分権における地方行政のあり方」の演題で講演していただきました。



傍聴してみませんか



傍聴席からの議場風景

市議会では、市民の皆さまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴してください。

傍聴は、備え付けの傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで簡単にできます。

場所：議場 本館3階

（入口は本館2階資産税課横）

：委員会室 別館3階

定員：議場 40席

（車いすスペース3台分）

：委員会室 7席

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できますが、定員を超える場合は抽選となりますのでご了承ください。

なお、平成17年第1回定例会は、次の日程で開催される予定です。議事の都合により日程が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話 0725・41・1551（内線1722）

＊第1回＊ 定例会の予定

日 程	会 議	場 所	時 間
2月22日(火)	議会運営委員会	委員会室	午後1時～
3月1日(火)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時～
3月2日(水)	民生企業委員会	委員会室	午前10時～
3月3日(木)	産業建設委員会	委員会室	午前10時～
3月4日(金)	総務文教委員会	委員会室	午前10時～
3月9日(水) ～16日(水)	予算審査特別委員会	議 場	午前10時～
3月18日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時～
3月24日(木)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時～
3月25日(金)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時～
3月28日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時～